

提出されたご意見とそれに対する本市の考え方

項目	ご意見等の内容	本市の考え方	対応 内訳
Ⅱ 熊本市の農水産業を取り巻く状況	1 農水産物の生産等の状況 熊本市で農業が盛んなことが、市民にあまり知られていないように感じている。もっとPRできるように、わかりやすいパンフレット作成やSNSを活用した情報発信などに力を入れてもらいたい。	本市が誇る農水産業のPRについて、一層取り組んでいきます。 なお、ご意見に関する取組については、「3-2-1 多様な媒体を活用した情報発信と交流促進」に記載しており、具体的な事業を実施する際の参考にさせていただきます。	対応2 （既記載）
	熊本市が全国有数のノリの産地であると初めて知りました。とてもすごいことですが、多くの市民は知らないと思います。熊本が誇るノリをもっとPRしていくべきではないでしょうか。	本市が誇る農水産業のPRについて、一層取り組んでいきます。 なお、ご意見に関する取組については、「3-2-1 多様な媒体を活用した情報発信と交流促進」に記載しており、具体的な事業を実施する際の参考にさせていただきます。	対応2 （既記載）
	4 気候変動の状況 温暖化の影響により果樹栽培が難しくなっているのので、対策を考えてほしい。	農水産業は気候変動の影響を特に受けやすい産業であり、各種対応策の推進が必要と認識しております。 ご意見に関する取組については、「1-1-2 安定した農業生産・集出荷の推進、鳥獣対策の強化」において記載しており、国・県・関係機関等と連携しながら、栽培品目や技術について研究するとともに、耐暑性品種等への転換や栽培技術の普及等の対策も進めていきます。	対応2 （既記載）
	6 みどりの食料システム戦略等の策定 CO2ゼロエミッションやイノベーション、PDCAサイクルについて、用語解説集に加えてほしい。	ご意見を踏まえ、用語解説集に追記しました。	対応1 （補足修正）

V 実現に向けた課題と必要な取組	1 競争力の高い農水産業の振興	スマート農業を導入するためには、費用が高額になるので、支援をお願いしたい。	ご意見を踏まえ、スマート農業技術の導入にあたっては、補助事業も活用しつつ、導入を計画している農業経営体の状況も踏まえた支援に取り組んでいきます。	対応4 (事業参考)
		近年、全国的にシカによる農業への被害が増えていると聞きます。この計画にはシカについての記載はないようですが、熊本市では大きな被害は出ていないのでしょうか。	現在のところ、本市におけるシカの農業被害は把握していませんが、今後、被害発生も懸念されますので、シカにおいても総合的な鳥獣被害対策を推進していきます。	対応3 (説明・理解)
		日本の農業を持続可能なものとしていくためには、若手農業者の確保が重要です。計画にも新規就農者の確保・育成の支援について記載がありますが、安定した担い手の確保には親元就農が有効だと思います。国の制度では、新規就農の形態の1つである親元就農は手厚い支援の対象外となることもあるようなので、市の支援も検討してほしい。	農業の技術習得にあたっては熟練者による丁寧な指導が欠かせないことから、新規就農のうち親元就農は、営農定着しやすく有効な就農形態と認識しております。 ご意見については、具体的な事業を検討する際の参考とさせていただきます。	対応4 (事業参考)
	2 しなやかで強い経営基盤の確立	大型機械を使用できるほ場づくり、最低でも1ha単位、経営としては50ha単位の農業経営を可能とすること。土地の境界は座標管理とし、自由に使える広い耕地を作ること。	基盤整備事業については、立地条件や水利条件等を勘案し、各地域の意向を踏まえて区画を決定していますが、農業経営における生産コスト縮減や担い手への農地利用集積を図る観点等から、ほ場の大区画化を推進することは有効と考えております。 ご意見については、事業を実施する際の参考とさせていただきます。また、整備後の農地の境界については座標で管理しております。	対応4 (事業参考)
		干ばつに強い条件整備、すなわち、農業用水確保を図ること。	農業に水は欠かせないものであり、農業用水の確保に向けて、基盤整備事業における用排水施設の整備や、老朽化した施設の保全・管理に努め、計画的に更新を行っていきます。 ご意見に関する取組については、「2-2-1 農地及び土地改良施設の整備・保全の推進」に位置付けております。	対応2 (既記載)

V 実現に向けた課題と必要な取組	2 しなやかで強い 経営基盤の確立	既存の農地の現況調査を全体的に行うこと。その後、総合プランを樹立する。	地域の皆さんの話し合いのもと、各地域で農地の現状を把握し、将来の農地利用の姿を明確化する「地域計画」の策定を推進しています。 ご意見に関する取組については、「2-1-2 経営安定対策の推進」に位置付けております。	対応2 (既記載)
	3 農と食の 魅力創造	地産地消フェアや水産物フェアはいつ開催しているかわからないので、わかりやすく周知してほしい。	これまで、市ホームページやInstagram等のSNS、テレビCMや番組、新聞、ラジオ等の複数の媒体を用いて周知を行ってきたところです。今後、より分かりやすい周知方法を検討してまいります。	対応5 (その他)